

自己評価・外部評価 評価表

令和3年 洛和ヘルパーステーション音羽

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている	5	5			毎朝、理念の唱和をしている。 ・理念の唱和を行っており理解 できている。 ・また機会があれば理念を教え てください。	
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識している	2	8			理念を、意識して、業務してい る。 ・理念を理解したうえで業務に 携わっている。	
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーターの判断 能力など)の向上のため、職員を育 成するための具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を受ける機 会等を確保している	1	6	2	1	法人内の研修は、定期的に実 施されている。シフトの兼ね合 いで参加できない職員もいる ため、伝達研修をしている。 その他、個別で、外部研修を 受けることになっている。 ・できていないことが多く、全く できていないと感じている職員 もおられる為、そういった職員 の方も満足できるように体制を 整えられたらより良いかと思 います。 ・伝達研修の実施継続が必要 である。 ・研修により意識の向上が図れ ると思います。 ・できていないとの自己評価も 見られますので改善の検討を されてもよいカモれません ね。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure)【適切な事業運営】									
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		8	1		新人や介護技術に不安のある職員には、同行訪問して技術向上に努めている。	
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	2	5	4		毎月、ケース会議を実施している。また、特に、訪問看護との情報交換は頻繁にしている。上記のように、機会はあるが、十分に共通認識できていない場合もある。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状よりさらに相互理解している工夫などを検討できればよいのかと思います。 ・月1回のアセスメント会議実施。その都度情報交換している。 ・コミュニケーションが第一だと思います。 ・情報交換後のアセスメント評価など共有できていない。新規利用者の情報連絡が遅い。 ・難しいですが、要検討でしょうか。
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	2	7	2		人員がギリギリの事はあるが、最低限のラインは確保できている。工夫してシフトを組んでいるので、適切に業務は出来ていると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた人員の中で十分工夫して対応していただけていると思います。 ・限られた人数での対応は難しいですね。 ・難しいですが、要検討でしょうか。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	2	8			コロナ禍の為、会議は資料配布に切り替えているが、要望・助言等は、改善するようにつとめている。	<ul style="list-style-type: none"> ・要望等改善に努めている。 ・私たちも会議はできず、資料配布のみです。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure)【適切な事業運営】									
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	1	6	4		申し送りボード、経過記録を利用して情報共有しているが、共通認識ができていない事がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・共通認識できていない為に起こってしまう事故などがないよう、リスクマネジメントもできていれば、予防できることもあるかと思えます。 ・申し送りを徹底して情報共有を行い共通認識に務める必要がある。 ・利用者の健康を把握していくのは難しいですね。 ・情報共有できていないことが多い。新しい情報がスマケア手順に更新されていない。 ・改善策要検討。
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	1	5	4	1	対策はされている。しかし、全ての職員に情報が回っていない事がある。地域の訪問では、夜間の訪問の防災対策については、昼間の訪問と特に変わらない状況。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後BCPの取り組みを行うことが、包括も義務となってくる為地域の事務所の緊急対応なども共有していけたらありがたいです。 ・対策を行っているのであれば、情報共有および実施できるようにする必要があります。 ・職員たちの安全に対する保証はどのようになっているのですか。 ・改善策要検討。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	2	9			利用者の個人情報が記載されているものについては、離席の際等は、目に触れないように意識して対応している。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いは問題なくできている。 ・個人情報の取り扱いについては、私達も苦勞しています。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	2	8			1日複数回の訪問で、生活状況の把握、必要な提案はしている。	・1日の生活リズム把握に努めている。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	2	7	1		月1回のケース会議にて情報を共有している。	ケース会議は参加者は毎回同じですか。全職員での周知方法は議事録等でされているのか、方法等教えていただけたらと思います。 ・月1回のアセスメント会議で情報共有を行っている。 ・情報の共有はできています。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	2	8			医療関係者(訪看等)の意見を考慮して、計画作成している。	・利用者に応じた計画書の作成ができています。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者等の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	1	8	1		利用者の状況変化については、その都度、報告し、改善に向けての検討をしている。	・改善に向けての努力はしている。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	4	6			状況に応じた対応をしている。しかし、後手後手になってしまいうこともある。	・可能な限り柔軟に対応を行う努力はしている。 ・アセスメント不足。予測対応が不十分に感じることがある。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	3	6	1		把握した利用者の変化等は、CMにも相談し、計画に反映している。ホームライフの入居者の情報は共有出来ており、よく報告や相談も行っている。	・報告、相談行い計画に反映している。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	1	9			医療的なことについては、看護職の指示等、適宜頂いている。	・可能な限り役割分担できている。 ・報告すべきことが事後になっている時もある。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	2	7	1		随時、状況の共有を行っている。	・随時助言している。 ・助言、指導後の結果や評価についても共有する必要がある。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	3	7			契約の際に、説明している。理解できていない方もおられる。	・必要時説明することで理解を得る。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	2	7	1		訪問介護計画書(定期巡回)を作成し説明している。しかし、利用者によっては、認識できていない方もいる。	・計画書の作成、説明は行っている。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	3	7			必要に応じて、家族等に連絡を取っている。	・家族には連絡を取っている。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	3	7			利用者、CM等と情報共有し、おおよその訪問時間帯を決めている。また、日々相談・報告を行い対応している。	・ケアマネと情報共有行い、サービス提供できている。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	2	8			行っている。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	3	7			定期的実施出来ている。必要時には、随時で機会を設けている。	・お互い情報共有できている。 ・積極的な情報提供はできていない。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		4	1		定期的ケース会議で検討している。	・ご苦労様です。 ・月1回アセスメント会議で検討できている。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		6	1		行われている。しかし、病院等からの情報と実際の生活状況との差が大きいことがある。	・病院関係者が在宅についての理解が追い付いていない現状がある為、差が大きいことがあるのかと思います。在宅生活とはどういうことなのかを理解してもらえるよう、医療と介護の連携を図っていく必要があるように思います。 ・切れ目なくサービス提供できている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		5	1		利用されている方については、共有されている。	・タイトル、項目等もっと簡単な言葉で表現してほしい。利用者さんに共有されているのはいいと思う。 ・多職種による分担・連携が図れている。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	3	7			記録はファイルして、誰でも見る事ができるようにしている。	・情報の発信及び収集は迅速に行っていく必要がある。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	1	5	3	1	コロナ禍で、文書での報告になっているが、定期的に報告している。	・具体的にどのような形で地域に文書を出されていますか。具体的に地域役員の方への郵送ということでしょうか。 ・定期的な報告は継続していく必要がある。 ・まだまだ周知が行き届いていないと思いますので、よろしく願いいたします。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価 (Process)									
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	1	4	6		職員によっては、十分に理解できていないものもいる。	今後、地域包括システムに欠かせないことですが、コロナにより、後退している部分もあります。職員の方の理解を深めていただき、ご協力をお願いします。 ・職員全員が理解できる取り組みが必要である。 ・難しいですね。共に努力が必要だと思います。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	3	4	3	1	地域のエリアについては、山科区全体で展開している。	・地域密着型で、区全体の対応は、実質可能ですか。 ・難しいですね。共に努力が必要だと思います。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>		3	2	2	十分に理解できていない。	・インフォーマルサービスについて、知りたいことなどがあればご相談ください。 ・これから相互に考え、意見を出し合って考えていきたいと思っています。 ・運営会議が開催されないことに残念に思います。 ・難しいですね。共に努力が必要だと思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
Ⅲ 結果評価 (Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	1	8			各利用者ごとに、計画目標の達成に向けて動いている。	・計画目標達成に向けて業務に取り組んでいる。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	1	8	1		必要に応じてだが、毎日複数回の訪問は、利用者の安心に繋がっていると思う。 ホームライフ内では、コロナ禍での生活に対して不安に思っておられる方もいる。	・利用者の状況に応じて複数回の訪問等にて対応を行い、安心に努めている。 ・コロナウイルス感染予防対策もきっちり行われているようで、職員の方の日々の努力が伺われます。